

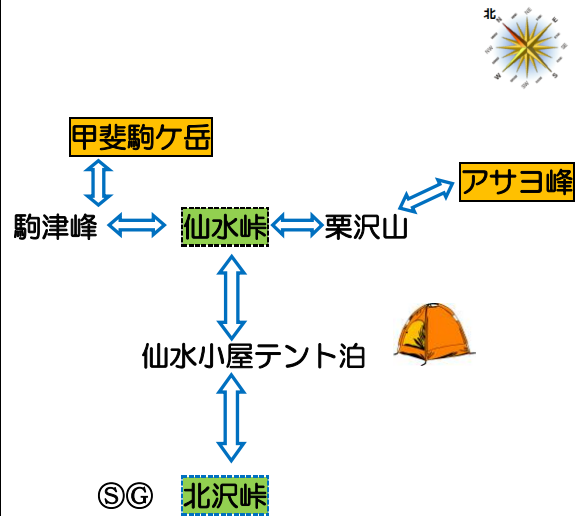
【個人】

# 山 行 報 告 書

山 名： 甲斐駒ヶ岳 (2967m)・アサヨ峰 (2799m) (山梨県南アルプス市・北杜市)

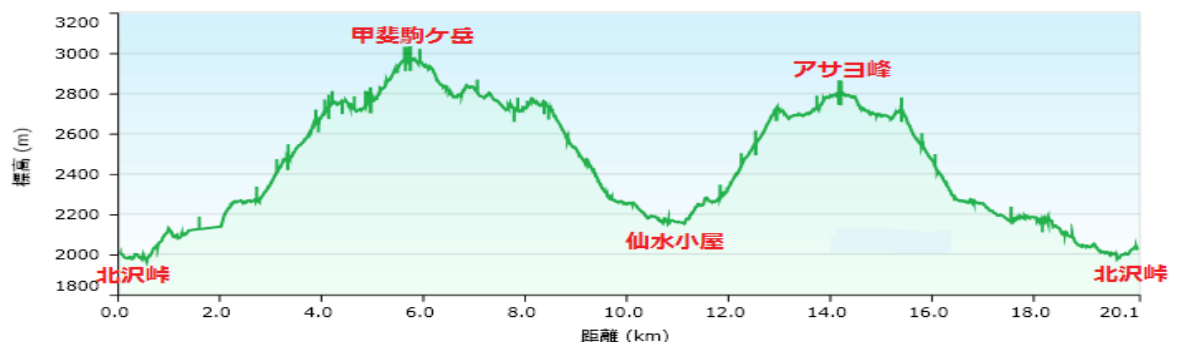
入山日：平成27年10月8日(木)~10日(土) (2泊3日)

メンバー： 岩田 計 男 1名



10月8日(木) 晴	6:44 大宮⇒7:23 新宿 8:00⇒ (スーパーあずさ5号) ⇒9:28 甲府 10:15⇒ (バス) ⇒
	12:08 広河原 12:30⇒ (バス) ⇒12:55 北沢峠
	13:15 北沢峠 2010m→14:00 仙水小屋 2150m テント泊 合計 45分
10月9日(金) 晴	6:00 仙水小屋→6:35~45 仙水峠 2264m→9:00 駒津峰 2740m→9:39 八合目 2723m→
	11:02~45 甲斐駒ヶ岳 2967m→12:35~40 摩利支天 2835m→13:28 八合目→
	14:10~20 駒津峰→ 15:50 仙水峠 2264m→16:30 仙水小屋 2150m テント泊 合計 10時間30分
10月10日(土) 晴午後曇	6:15 仙水小屋→6:50 仙水峠→8:25~40 栗沢山 2714m→9:50~10:15 アサヨ峰 2799m
	→11:19~30 栗沢山→12:35 仙水峠→13:20~14:30 仙水小屋→15:20 北沢峠
	合計 9時間5分
	15:20 北沢峠⇒ (臨時バス) ⇒15:48 広河原 16:40⇒ (バス) ⇒18:30 甲府 18:56 甲府⇒ (かいじ122号) ⇒20:35 新宿 20:46⇒21:20 大宮

装備：ヘッドランプ、雨具、ダウンジャケット、コンパス、地図、ガーミンGPS、テント、シュラフ、シュラフカバー、エアーマット、テルモス、バーナー、サブザック、ストック、予備水筒、熊鈴



三日間の高度グラフ

**10月8日(木) 第一日目**

甲府駅から広河原行バスの車掌が車窓の山々についてガイドし“中腹にNの字があるのがアサヨ峰。アサヨ峰はこのあたりで一番早く朝がきて、一番早く夜が来るといわれている”という。だからアサヨ峰というのか。広河原で北沢峠行きのバスに乗り換え山奥に進むと一段と紅葉が美しい。

終点の北沢峠バス停で降り約45分北沢沿いの緩やかな登りを行くと仙水小屋に着く。静かな森の中にテントを張る。計2張りのみ。小屋の管理人いわく、下の北沢峠のテント場はシーズンの週末になると200張りになるときもあり、騒音でトラブルになることも、だから知っている人はここに来ると。確かにこのテント場は静かで飲料水が豊富で穴場かもしれない。飲料水はボーリング水で水温4度と書いてあった。

テントから木立の間に西に傾いた太陽と仙丈ヶ岳が見える。夜空に人工衛星が2個光って飛んでいった。テントの中は摂氏4度ぐらいでスリーシーズン用シュラフでは少し寒かった。

**10月9日(金) 第二日目**

仙水小屋テント場を出発し仙水峠に着くと、目の前に雪におおわれたような白い摩利支天があらわれた。迫力満点だ。急登の樹林帯をぬけると駒津峰。八合目からは岩稜の直登コースと巻道コースに分かれるが、往きは直登コースを登った。急な岩稜が続く。

甲斐駒ヶ岳頂上からは大パノラマで、南アルプスの名だたる峰々がずらり。遠く南アルプス南端の光岳まで展望できた。復路は巻道コースを下り、途中摩利支天に寄った。ぜひ訪れたいパワースポットだ。往復40分。長い下りの末、仙水小屋テント場に戻った。

**10月10日(土) 第三日目**

再び仙水峠まで登り、昨日と反対側へ行く。高度が増すにつれ樹林帯からハイマツ、シャクナゲそして岩稜となり栗沢山に到着した。今日も見晴らしは良い。登山者は少なく数名のみ。栗沢山からアサヨ峰への縦走路は岩が多い。一ヶ所三点支持でバランスが必要などところがある。

アサヨ峰頂上では東に富士山・鳳凰三山、南に北岳・間ノ岳、西に仙丈ヶ岳そして北に昨日登った甲斐駒ヶ岳とぐるり囲まれ、ここまで登った甲斐があった甲斐。ゆ甲斐だ\(^o^)/

下山途中、数名の早川尾根縦走者に会った。当初早川尾根縦走を考えたが、広河原峠～白鳳峠間で数年前登山道が崩れ通行止めの情報があったので、今回縦走は止めた。ちなみにアサヨ峰は早川尾根の最高峰だ。

再び仙水峠に戻り、まわりの美しい紅葉にあらためて感動した。このあたりは山の斜面一帯に岩塊がゴロゴロしたユニークなところだ。仙水小屋テント場へ帰りテントを撤収し下山。下の北沢峠のテント場を通ると、約100張りものテントだった。バス停に着くと臨時バスが丁度出発するところで運よく乗車することができた。

以上